

Outlook からの送信で、S/MIME の暗号化メールで問題が発生する場合の対処方法

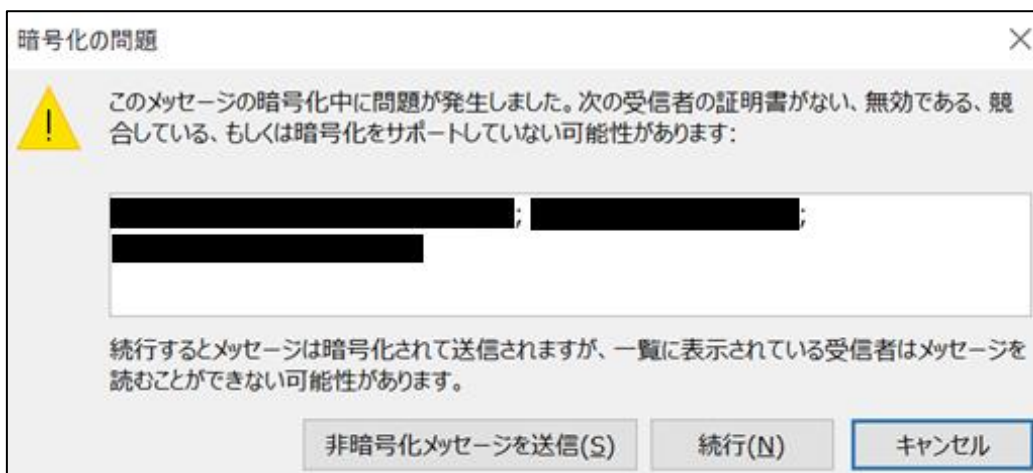
Outlook で S/MIME の電子証明書を双方で交換した後、暗号化メールを送信したときに、以下のように問題が発生する場合があります。

以下のように、メールの中味が表示されず、S/MIME の表示が無効となっており、署名を確認すると、「メッセージにはデジタル署名がありません」との記述になっています（なお、こちらは受信者の Thunderbird の画面です）。



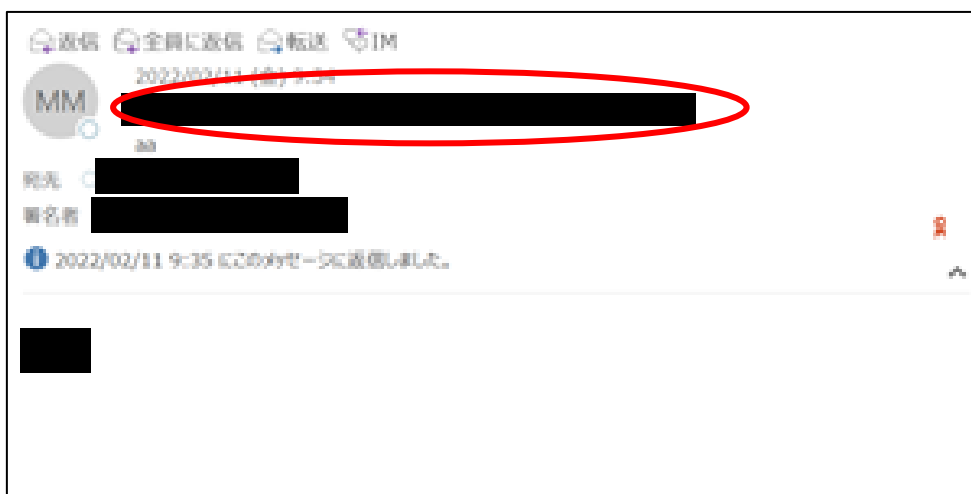
これは、暗号化メールの送信時に、以下のような「暗号化の問題」というポップアップが出て、そのまま「続行」した場合に起こるようです。ただし、ここで「続行」してうまく暗号化メールが送信される場合もあるようで、ちょっとややこしいです。

いずれにしろ、このメッセージが出ないように、ここで記述する方法で電子証明書の再登録を行うことで問題が解消できるようですので、試してみてください。

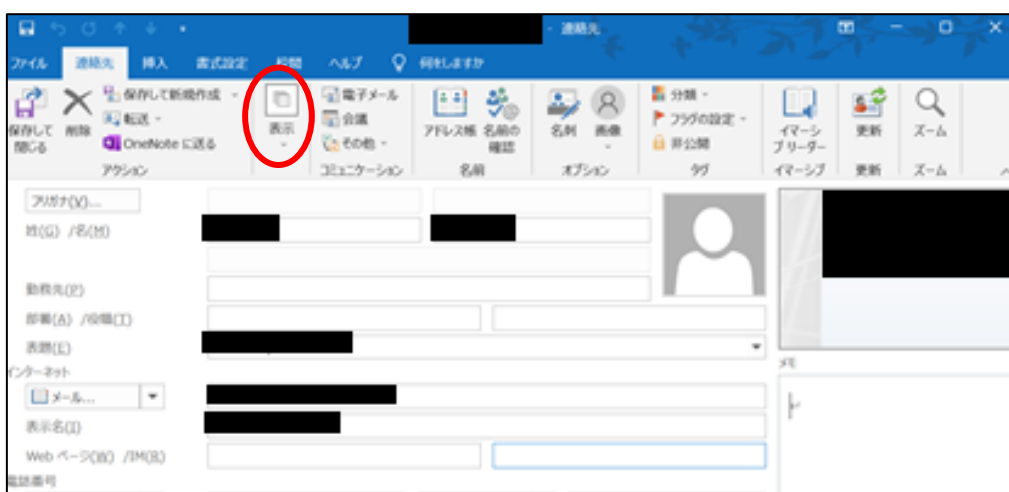


まず、上記のポップアップに含まれるメールアドレスの電子証明書の再登録が必要となるのです、どこかにコピーして保存しておきます。このメールアドレスごとにそれぞれ以下の対応をします。

まず、そのメールアドレスから送信者として証明書付きで送られてきたメール（今までに送られてきているメール）を開きます。これは、電子証明書が付いているだけのメールです。



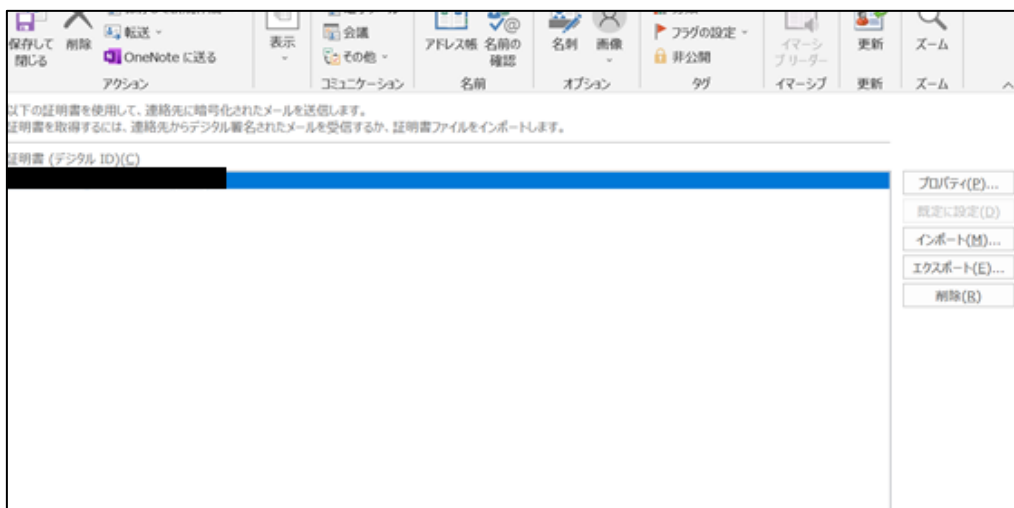
送信者のところにマウスを持っていき、そのメールアドレスを右クリックします。その中にある、「Outlook の連絡先に追加」あるいは「連絡先の編集」をクリックすると以下のような画面になります。



ここの上のタブにある「表示」をクリックし、その中の「証明書」をクリックします。そう

すると、以下のような画面になりますが、ここで、証明書が表示される場合と、ここに何も表示されない場合があります。

以下のスクリーンショットは表示される場合です。まず、この場合の対処方法を①として記述します。何も表示されない場合には、②に進んでください。



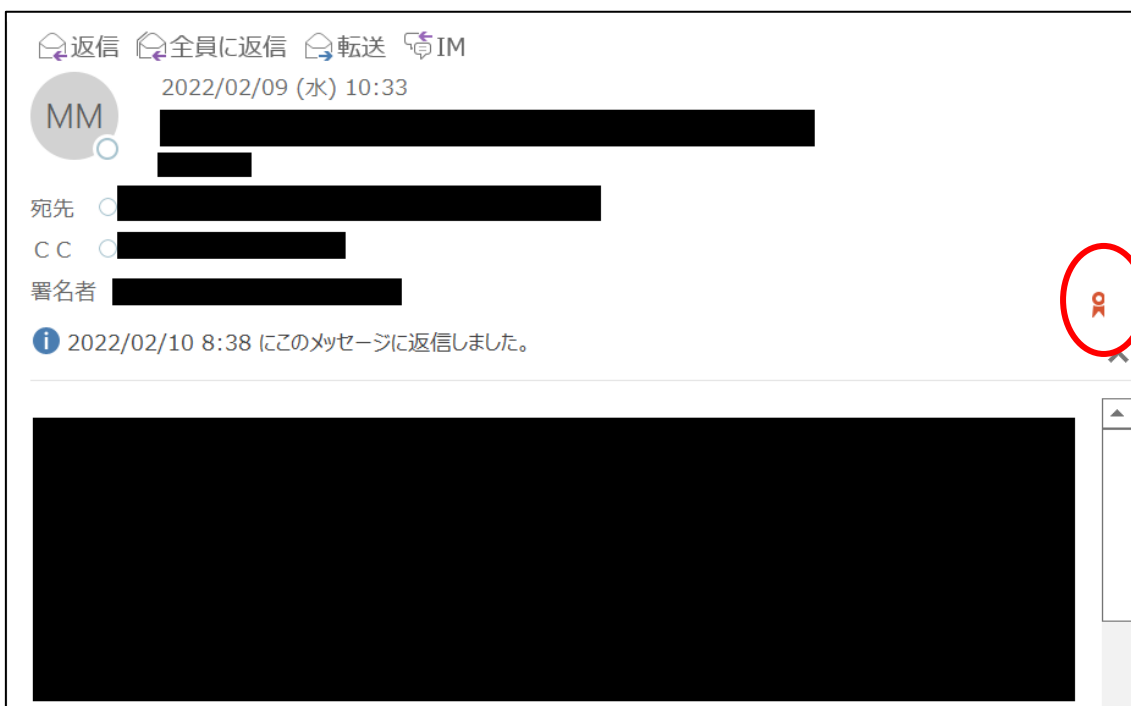
① 証明書が表示される場合

上のスクリーンショットのように証明書が表示される場合には、左上の「保存して閉じる」をクリックしてください。これで、証明書が再登録されます。というか、ここで、再度保存することで、証明書が正しく登録されなおります。

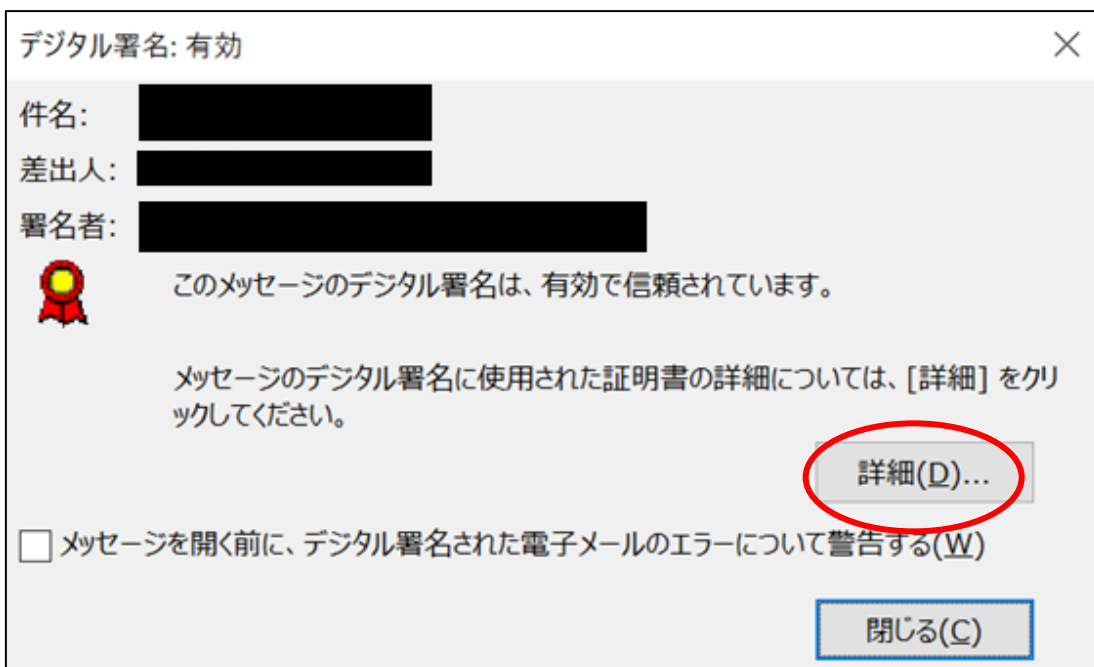
② 証明書が何も表示されない場合

上のスクリーンショットにおいて、証明書のところにも何も表示されない場合には、以下の手順に従って、再度証明書を登録して下さい。

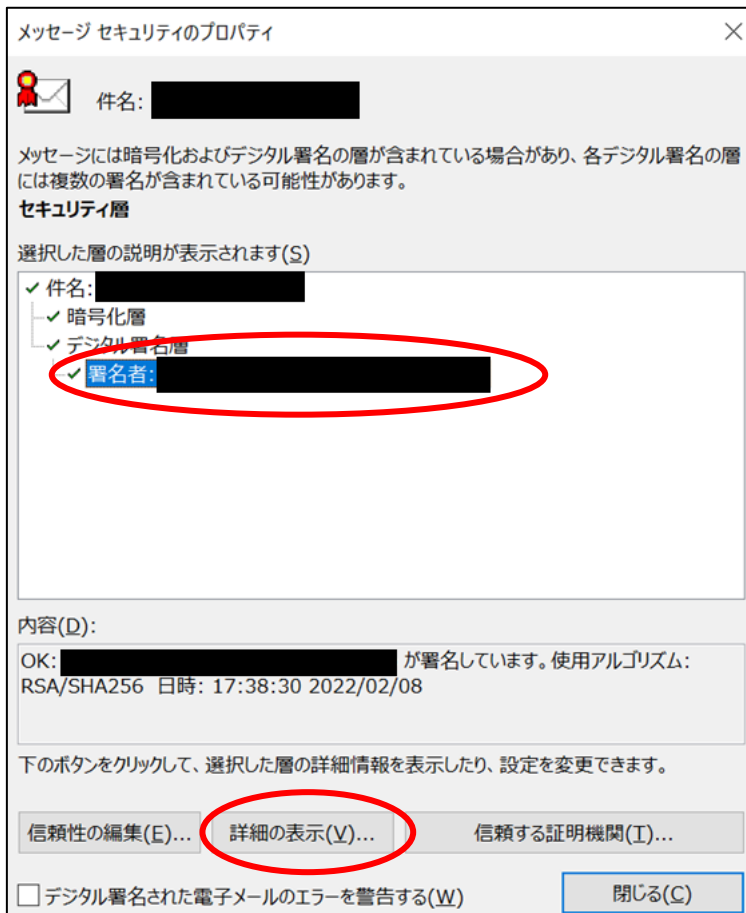
Outlook の画面（以下）に戻って、以前に該当のメールアドレスから送信者として証明書付きで送られてきたメールを開きます。



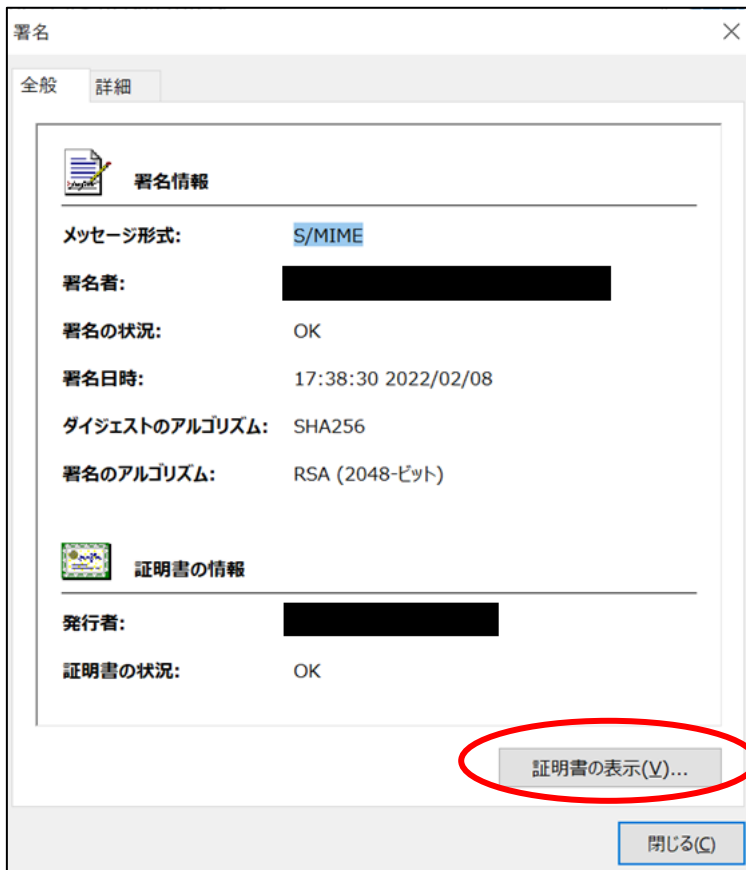
証明書のマークをクリックすると、以下のような「デジタル署名」のポップアップが出ます。



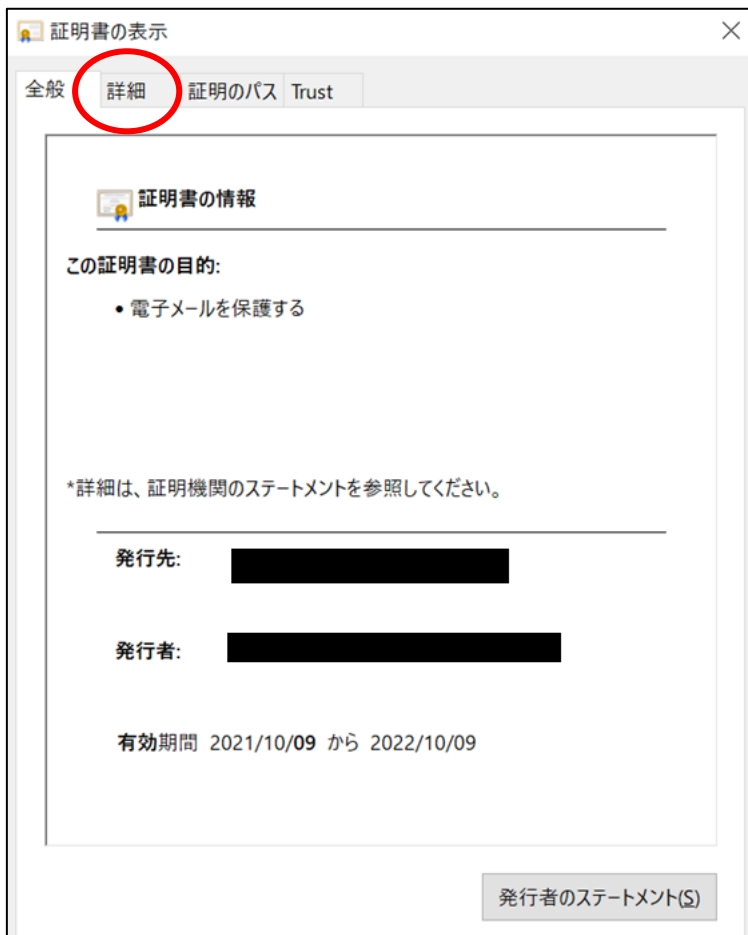
ここで、「詳細」をクリックします。以下の画面になりますので、「署名者」をクリックします。そして、「詳細の表示」をクリックします。



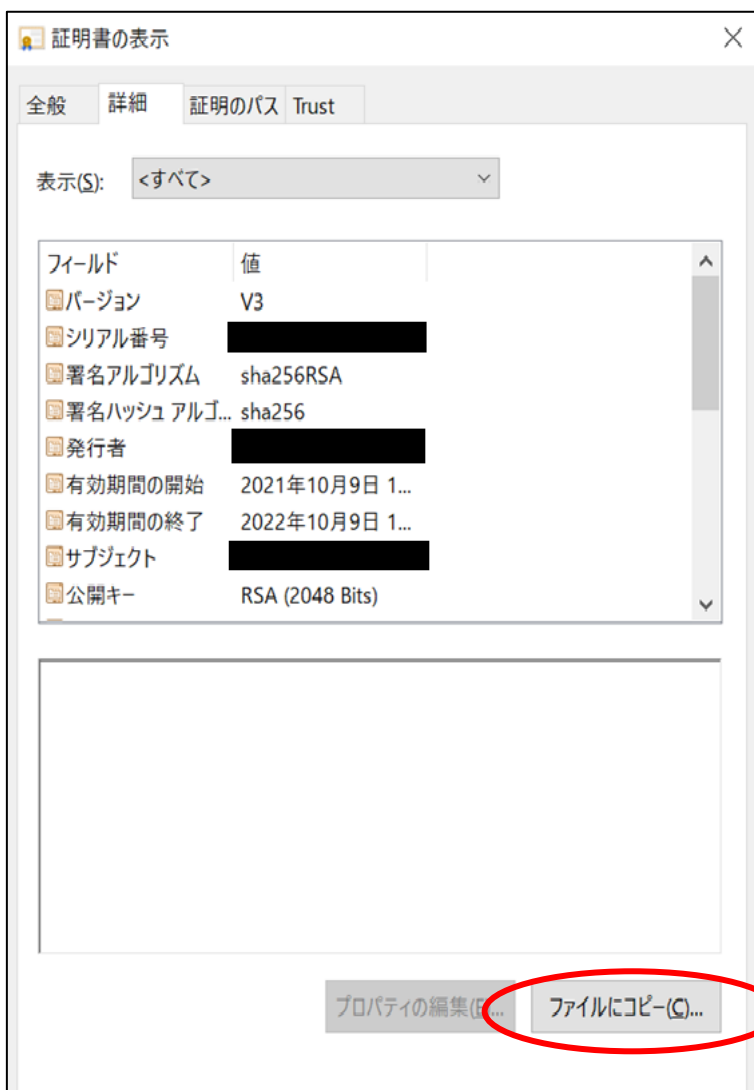
下の方にある「証明書の表示 (V) …」をクリックします。



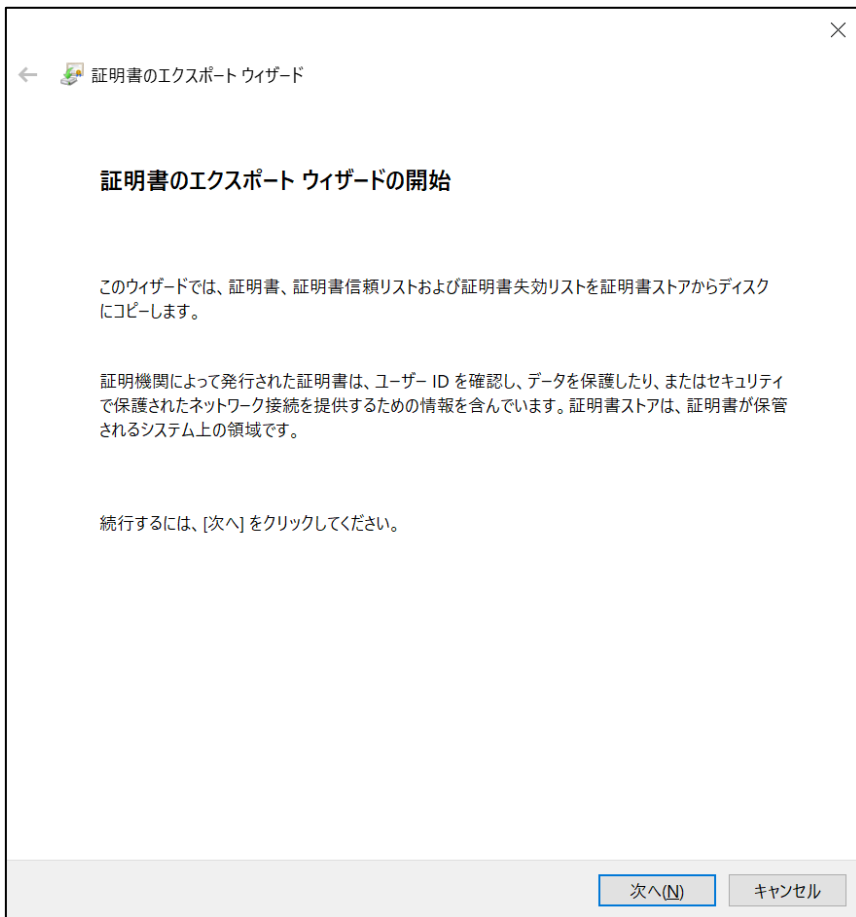
タグの「詳細」をクリックします。



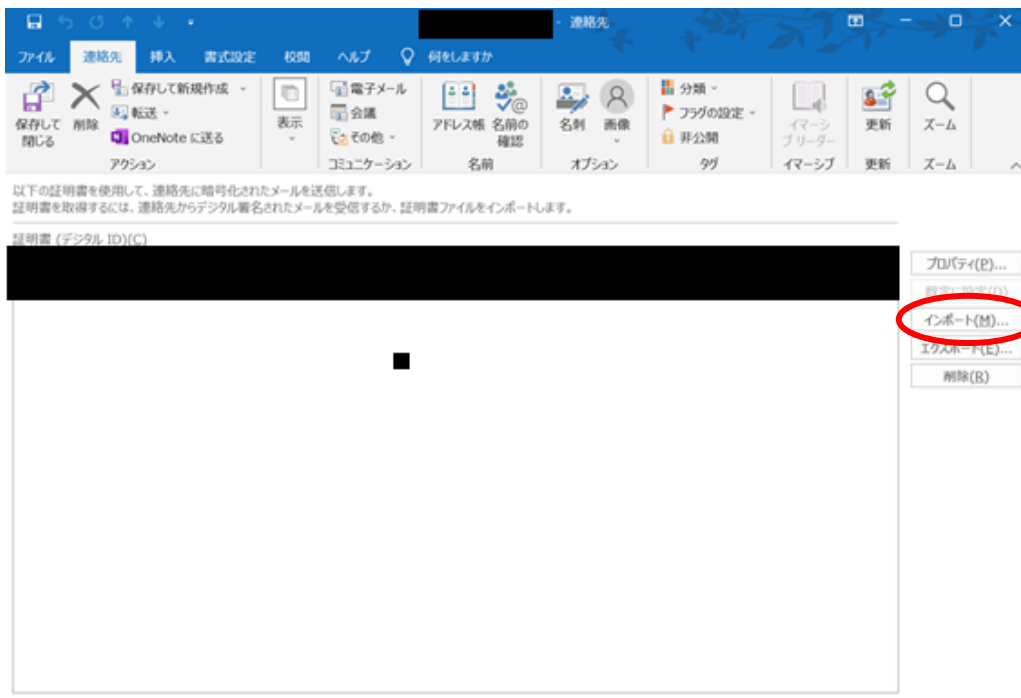
下の方にある「ファイルにコピー (C) …」をクリックします。



下の図の「昭栄所のエクスポートウィザード」の画面になりますので、ここから「次へ」を2~3回クリックして進めると、エクスポートするファイル名を聞かれますので適当なファイル名を指定して保存してください。



再度、Outlook の送信者のところにマウスを持っていき、そのメールアドレスを右クリックし、「Outlook の連絡先に追加」あるいは「連絡先の編集」をクリックして、以下の連絡先の画面に行きます。



右側の「インポート」をクリックし、先ほどエクスポートしたファイル名を指定して開きます。そうすると、連絡先画面の証明書が表示されますので、左上の「保存して閉じる」をクリックします。

以上の手順を、該当のメールアドレスすべてに対して行います。これで、暗号化メールの送信はうまくいくと思います。

以上